

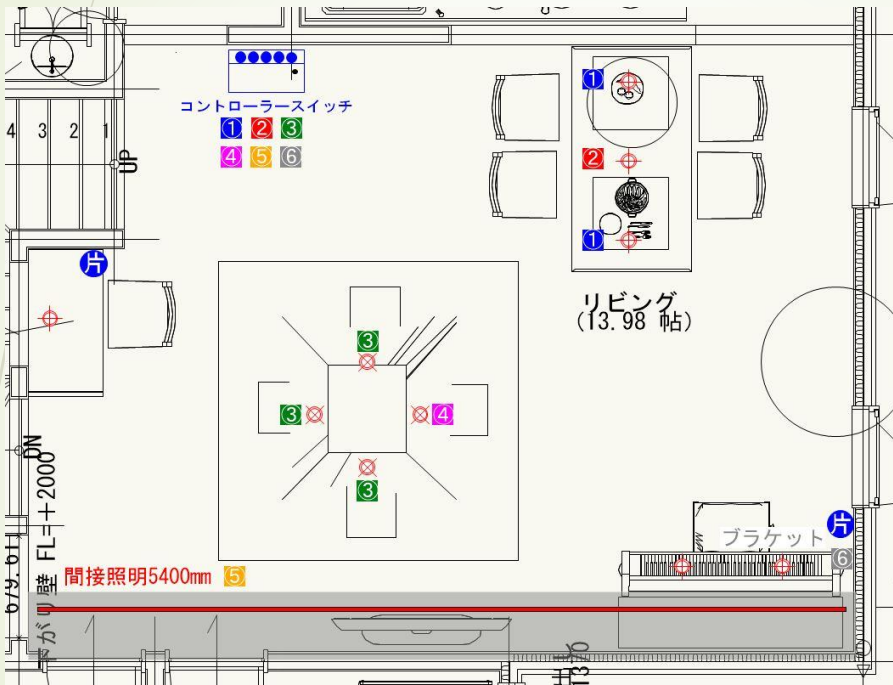
回路計画

電気屋さんに任せてしまっていないですか？

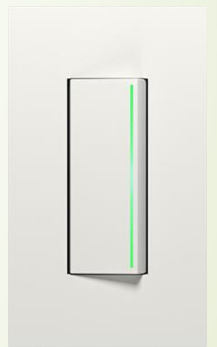
毎日必ずスイッチを触っていませんか？意外と重要な回路のお話しです。

この間取り、約14帖のリビングダイニング。ダイニングと掘りこたつ照明とピアノの横にブラケット照明。前回（Vol.9）でコントローラースイッチのお話しをしました。今回はそれを。

ダイニングは食事中、食事後、夜間の3つのシーンを想定しました。こたつの上は食後の団らんと夜間の2つのシーンです。この家は2階リビングでリビングを中心に各部屋へ繋がります。②と④は常夜灯の役割も担います。別に回路を分けなくても調光すれば良いのでは？と思うかもしれませんが、実際の空間に身を置くと腹落ちします。



灯りコラム
Vol.8



照明はその空間に入り感じ取ることで納得が行くものです。明るさの感じ方は人それぞれ。

昔、ペンダント照明に紐が付いてある照明を見たことありませんか？（今でも売ってますが）電球が2つ付いていて紐を引っ張ると、2こ、1こ、豆球、消灯になるあれです。1つのペンダント型照明に4つの回路が組み込まれているのです。実に実用的な機能で小さな頃は良く使っていた記憶がある方もいると思います。

今はその機能がスイッチの入り切りで出来る照明器具もあります。パチパチする事で、色温度を変えたり照度を変えたりと。機能に頼ることを考えるのと同時に「ここにあそこを一緒の回路にする」や「この場所は分けた方が使いやすいかも」など、生活動線とシーンを同時に考えることで、答えを導くことが可能になります。

詳細照明設計は、
株式会社灯り計画

照明計画を切り口に暮らしの提案の幅を広げてみませんか？
インテリアを引き立てる照明術。
豊かな暮らしには、照明の効果や演出が必須アイテム。
こだわりの場所やちょっと自慢の場所のインテリアに灯りのスパイスを効かせた提案をしてみたいかががでしようか。

照明計画のご相談をお待ちしております。